

研修会統一テーマ 地域共生社会に向けて多様な隣保館像を創造しよう

第60回全国隣保館長研修会

開催要綱

2023（令和5）年度



全国隣保館連絡協議会

1. 趣 旨

- (1) 2016（平成28）年12月16日に施行された「部落差別の解消の推進に関する法律」を踏まえて、隣保館は同和問題解決の拠点施設であることを再確認するとともに、福祉の向上や人権啓発の住民交流の開かれたコミュニティセンターとしての役割について、共通認識をさらに高める。
- (2) 実践報告では、「あしたの隣保館検討委員会報告書（2007.5）」の5つの視点や、2021（令和3）年4月に施行された「重層的支援体制整備事業」に関連したさまざまな事例等について研究討議を深め、隣保館活動をこれからのまちづくりのモデルとして高めていく。
- (3) 加えて、取り組みにおけるこれまでの成果と、これからの課題を明らかにするなかで、隣保館として果たすべき役割や、長所を活かすための工夫や方策について、参加者相互による実践交流をさらに深める。
- (4) 研修60年目の歴史を振り返るとともに、今後、隣保館が「地域共生社会」の実現に向けた拠点施設となるべく、また、地域に根ざし人に寄り添う、その第一線機関として果たすべき役割やさらに飛躍することをねらいとし、館長・職員並びに隣保事業に関心を持つ関係者の資質向上と共通理解を図ることを目的に開催する。

2. 主 催

全国隣保館連絡協議会

3. 後 援

※厚生労働省及び関係府県（依頼予定）

栃木県・茨城県・群馬県・埼玉県・千葉県・新潟県・福井県・神奈川県・長野県・岐阜県・静岡県
愛知県・三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県・鳥取県・島根県・岡山県
広島県・山口県・徳島県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・熊本県・大分県・鹿児島県

4. 開催期日

2023（令和5）年10月19日（木）～20日（金）

5. 研修会場【19日：全体会・記念講演 / 20日：分科会・特別上映会】

内容	施設名	所在地／電話
●研修会全体 (19-20日)	アクリエひめじ (姫路市文化コンベンション センター)	〒670-0836 兵庫県姫路市神屋町143-2 (電話) 079-263-8082 (代表)
●分科会6 フィールドワーク (20日/午前)	たつの市立総合隣保館・他	〒679-4142 兵庫県たつの市揖保町松原14-4 (電話) 0791-67-0090

6. 参加対象者

- ・隣保館長（館長が欠席の場合はその代理）
- ・関係府県、市町村職員（隣保館運営委員会委員等の隣保館関係者を含む）
- ・全隣協各ブロック事務局担当者、府県隣協事務局担当者
- ・広域隣保活動事業を実施している府県、市町村関係職員
- ・隣保館と連携する関係者（児童館・教育集会所・NPO法人等の関係施設）
- ・隣保事業士及び隣保事業士資格認定講習を受講しようと考えている方
- ・生活困窮者自立支援制度や重層的支援体制整備事業を進める自治体職員、民間団体等職員

7. 開催日程と内容 (日程案)

10/19(木)【1日目】		10/20(金)【2日目】	
			⑤分科会(150分/2時間30分) ※講演/実践報告/フィールドワーク
9:30	<会場設営・資料等荷物の搬入> 9:30~10:30 (予定) ⇒ブロック事務局・協力者	※受付 09:15 09:30 (開始)	1 講演/部落問題入門 (わたしからはじまる同和行政・人権行政)
11:00	<研修会運営打合せ会議> 11:00~11:30 (予定) ⇒全隣協正副会長・常任理事・ ブロック事務局		2 実践報告・意見交換 (ニーズ把握から館事業につなげる取り組み)
11:30	<昼食>	※8時10分に JR姫路駅「南 口」付近に集合	3 実践報告・意見交換 (相談・自立支援の取り組み)
12:00	<受付>2階:中ホールホワイエ前	12:00	4 実践報告・意見交換 (啓発・交流の取り組み)
13:00 (開始)	①開会行事(40分) *主催あいさつ *来賓あいさつ(予定) 厚生労働省 兵庫県 姫路市 *全隣協永年勤続表彰贈呈式(予定)	13:00	5 実践報告・意見交換 (寄り添い・居場所づくりの取り組み)
13:40	②基調(20分)	15:15	6 フィールドワーク (たつの市立総合隣保館・他)
14:00	③行政説明(70分) *演題:(仮称)地域福祉の動向と隣保館 ~地域共生社会の実現に向けて~ *講師:厚生労働省地域福祉課(依頼予定)	15:25 (終了)	⑥特別上映会(解説:30分/映画:105分) *映画:「大地よ アイヌとして生きる」
15:10	<休憩/15分>		⑦閉会行事(10分程度) ※全体総括
15:25	④記念講演(90分) *演題(仮称) 全国隣保館職員研修60周年を迎えて ~隣保(館)事業の研究・研修活動の歩み と、今後の課題~ *講師:全隣協相談役		アンケート回収/全日程終了
16:55 (終了)	<終了・事務連絡/宿泊施設へ移動>		
17:00	<分科会運営打合せ会議> ※分科会ごと 17:00~18:00 (予定) ⇒分科会2~6の関係者 (報告・司会・アドバイザー・記録・ 会場責任)		

8. 参加申込み (参加資料代) について

(1) 研修会への参加費は次のとおりです。

○参加資料代 : 1人: 3,000円

*フィールドワーク (分科会6) に参加される方は、別途1人: 1,000円 (工場施設見学科含む) の費用が必要になります。

・宿泊について … 宿泊施設は各自で手配をお願いいたします。(主催者による斡旋は行っておりません)

(2) 申込方法

①参加者は、「第60回全国隣保館長研修会 参加申込書」に必要事項を記入し、**9月15日(金)まで**に所属する「**府県隣協事務局**」へお申し込みください。また、参加費の納入については、各府県隣協事務局の指示に従ってください。

【府県隣協組織がないところ (オブザーバー施設)、隣保事業士 (現任職員は除く)、関係機関・団体等から参加を希望される方については、9月15日(金)までに直接、全隣協事務局へメール (またはFAX) にてお申し込みください】

*分科会は、一つの分科会に希望者が集中した場合、変更・調整させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

<分科会6 フィールドワークについて>

*フィールドワークは先着順による受付とし、同一府県からの申込は3名以内とします。定員(30人)に達した時点で、受け付け終了とさせていただきます。後日、各府県隣協等にメール等でお知らせいたします。参加希望者は直接、全隣協へ別紙 (参加申込書) をFAXにてお送りください。(先着順のため、府県隣協事務局経由だけでは全隣協への到着が遅れる場合があります)

*10月20日(金) 8時10分にJR姫路駅「南口」バスロータリー付近に集合 (集合場所の詳細は、研修会第1日目の事務連絡でお知らせします。)

*当日は、歩きやすい履物でご参加ください。雨天決行ですので雨具の用意をお願いします。

②各府県隣協事務局は参加者名簿を取りまとめ、**9月22日(金)までに下記「全隣協事務局」へ、メール・FAXで提出**してください。

全国隣保館連絡協議会事務局 (担当: 中川・中本)

〒650-0003 兵庫県神戸市中央区山本通4-22-15 兵庫県立のじぎく会館内

(電話) 078-940-0757 (FAX) 078-940-0758

(メール) zenrinkyou@rinpokan.net

③**参加費は、下記口座へ10月6日(金)までにお振り込みいただくか、当日受付でお支払いください。**

振込先 みずほ銀行 難波支店 (店番号470)

普通預金 口座番号 1384222

全隣協研修実行委員会 代表 窪田 幸実 (くぼた ゆきみ)

④府県隣協・自治体ごとに請求書が必要になる場合は、その旨、参加者名簿「備考欄」に、宛名・請求日・但し書きを記載するようにしてください。請求書の送り先は、府県隣協単位で取りまとめ一括で送付させていただけますと助かりますが、全隣協から直接、参加者宛に個別にお送りすることも可能です。

⑤2日間の研修となります。特別な事情がない限り両日の参加を原則とします。

(3) 変更・取消 (キャンセル) について

①申込み後に変更・取消が生じた場合、参加者は、速やかに各府県隣協事務局へご連絡をお願いします。

(府県隣協事務局は、その旨を参加者名簿に加筆修正し、メール・FAXにて全隣協事務局にお送りください。)

②事情があつて取消（キャンセル）をされる場合は、10月17日（火）17時までにご連絡を頂ければ返金いたします。取消（キャンセル）に伴う返金は、研修終了後とさせていただきます。なお、返金時の振込手数料はお客様負担となりますので予めご了承ください。（当日のキャンセルは返金不可）

9. 各分科会の事例発表について

- (1) 内容は、「実践報告のねらい」に基づき、「現状におけるこれまでの成果」と「今後に向けた課題と方向性」（取り組んでいること、取り組めていないこと等）を必ず明らかにするとともに、「やっています。」「～やりました。」という事業内容の羅列ではなく、館が取り組んだ（関わった）事業に焦点を当てた内容とすること。
- (2) また、「隣保館利用者の声」（隣保館の存在で助けられたこと、隣保館に対する要望等）、「隣保館の年間総利用人数」（主催事業・貸館事業）、「取り組みにおいて連携している機関や団体」なども掲載すること。
- (3) 加えて、隣保館の事業全体を通して得意としていること（特に重点を置いていること、特にPRしておきたいこと、他の施設ではできないこと）について、館職員全員で意見を出し合いまとめること。
- (4) また、「隣保館利用者の声」（隣保館の存在で助けられたこと等）を掲載すること。
- (5) 発表時間は、概ね45分程度とする。（時間配分は分科会打合せ会議で調整可能）
- (6) 発表原稿は、内容の概略または要旨を【用紙サイズ：A4サイズで4枚程度／文字数と行数：43字×43行／文字大きさ10.5ポイント／文体：「です・ます調」で統一】にまとめ、プリントアウトした原稿とデータを合わせて、9月8日（金）までに全隣協事務局へ送付（又はメール送信）すること。（発表館が確定次第、全隣協から直接依頼文をお送りします）

10. 表彰行事

隣保館勤続10年以上を対象にした「全隣協永年勤続表彰行事」を初日の全体会で行います。被表彰者は、本研修会にご参加ください。

11. 運営組織

- (1) 全隣協研修実行委員会
第60回全国隣保館長研修会の開催計画並びに運営・経理・業務・その他に責任を持ち、構成は全隣協常任理事会の構成員をもってこれにあたる。
- (2) 分科会運営打ち合わせ会議
・日 時 10月19日（木）17時00分～18時00分（予定）
・場 所 兵庫県姫路市「アクリエひめじ」（研修会場と同じ）

12. その他

本研修会は、隣保事業士資格認定講習を受講する要件となる研修会に該当します。

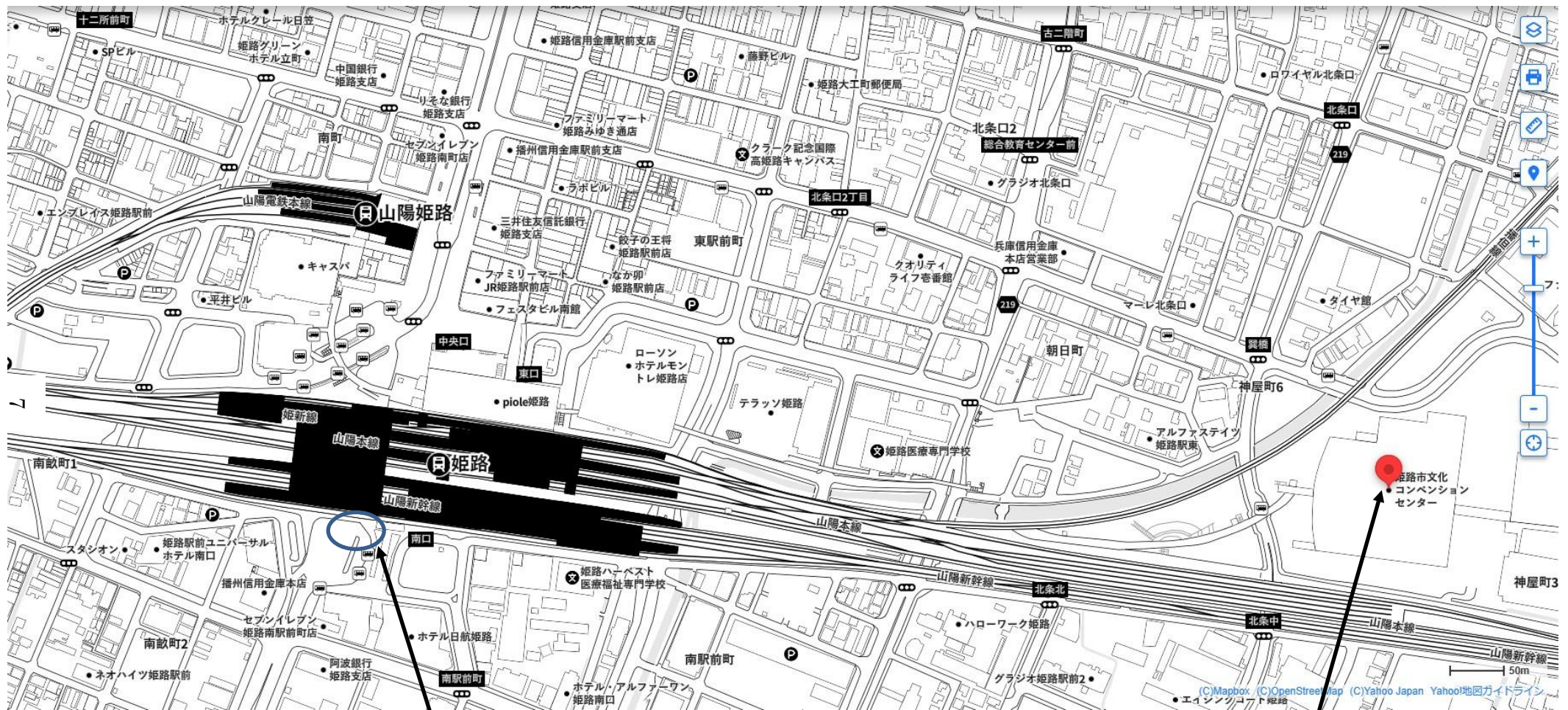
13. 問い合わせ

全国隣保館連絡協議会事務局（担当：中川・中本） 〒650-0003 兵庫県神戸市中央区山本通4-22-15 兵庫県立のじぎく会館内 （電 話）078-940-0757 （FAX）078-940-0758 （メール）zenrinkyou@rinpokan.net

<分科会の報告概要> ※2023年7月21日現在

分科会1	【講演】部落問題入門(主に新任館長・職員対象)		演題	わたしからはじまる同和行政・人権行政
	講師	一般財団法人 大阪府人権協会	ねらい	隣保館は同和行政・人権行政に位置づいています。この分科会では、 ・同和行政とはどのような行政なのか ・同和対策事業はどのような内容だったのか ・人権行政とはどのような行政なのか ・今後の同和行政・人権行政に求められることは を考え、部落問題・人権問題の解決のために、わたしができ ることを見つけていきたいと思いをします。
分科会2	【実践報告】 ニーズ把握から館事業につなげる取り組み		演題	新たな隣保館の創造に向けて
	報告	広島県江田島市市民生活部人権推進課	報告概要	社会状況が変化し人権課題も多様化する中で、今まで通り(毎年同じ事業内容)の隣保館事業では、年々隣保館事業・取組が後退していると言わざるを得ず、この現状打破以外には、隣保館の存続は有り得ない。隣保館が置かれた社会的状況に危機感を持ち、地域の課題やニーズを把握し、その課題解決と、ニーズに基づいた、社会状況や地域の状況にマッチした「人権・福祉・多文化共生」をテーマとした、地域共生社会を目指した新たな隣保館を創造し事業展開する以外には、隣保館の未来はない。様々な議論をしながら、新たな改革と取組を進めている内容を報告する。
分科会3	【実践報告】 相談・自立支援の取り組み		演題	Aと明日を描く
	報告	三重県津市白山市民会館	報告概要	「地域の宝」である子どもたち。一人ひとりが、16歳、19歳の明日を描き社会を生きぬいて欲しいと願い、子どもやその家族にかかわってきた。幼い頃から教育的に不利な環境が重なるAと祖母と共に歩んできた事例を報告する。
分科会4	【実践報告】 啓発・交流の取り組み		演題	みんなが幸せにくらしていける地域づくり
	報告	愛媛県西条市大町会館	報告概要	人権と福祉の拠点として「一人の声は、みんなの声」、「一人の悩みは、みんなの悩み」と捉え、地域住民の声(ニーズ)を把握し、みんなが幸せに暮らしていける地域づくりをめざした取組の、これまでの成果や今後の課題について報告します。
分科会5	【実践報告】 寄り添い・居場所づくりの取り組み		演題	隣保館が居場所となるように ～関係機関と連携した不登校支援の取り組み～
	報告	福岡県福智町ふれあい館	報告概要	解放子ども会に参加していた生徒が不登校となり2020年6月から支援開始。隣保館では居場所を提供し学習等の支援を実施した。学校とはケース会議を通じて情報共有を図り、登校する機会を増やしていった。その結果、中学3年生2学期から登校再開し、2023年4月高校入学を果たした。
分科会6	【フィールドワーク(現地学習)] ~隣保館を起点として「今も残る地域産業の過去と現在」 <行程予定> ●JR姫路駅「南口」バスロータリー付近(集合8:10/出発8:20)⇒現地到着(8:50頃) ①皮革工場見学(2班に分かれて行動)/②フィールドワーク/③たつの市立総合隣保館見学 ④地区推進員さんとの交流 ●現地出発(11:20頃)⇒JR姫路駅「南口」到着(11:50頃)			

研修会会場 周辺地図

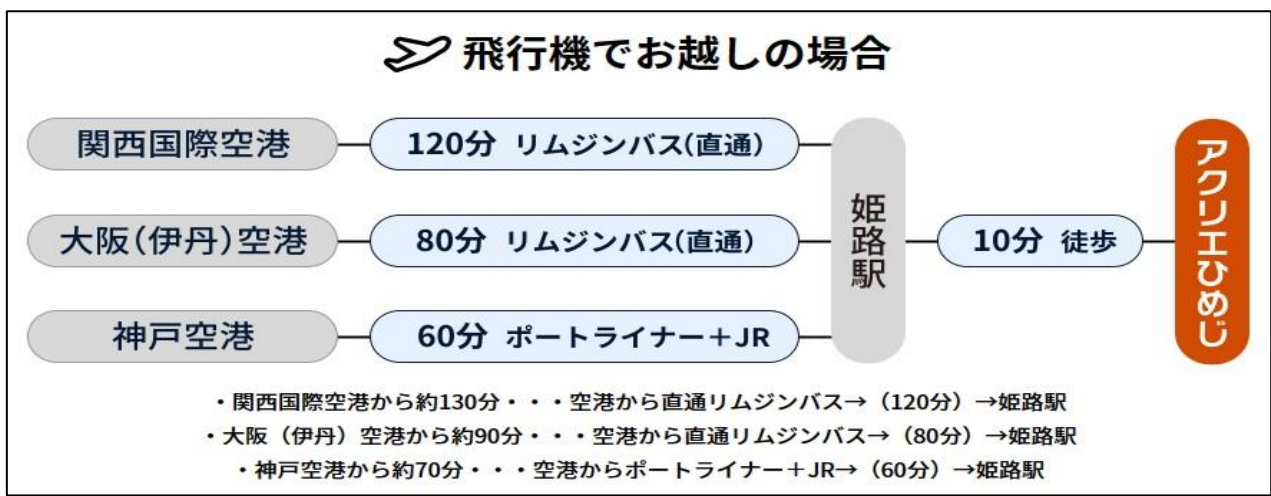
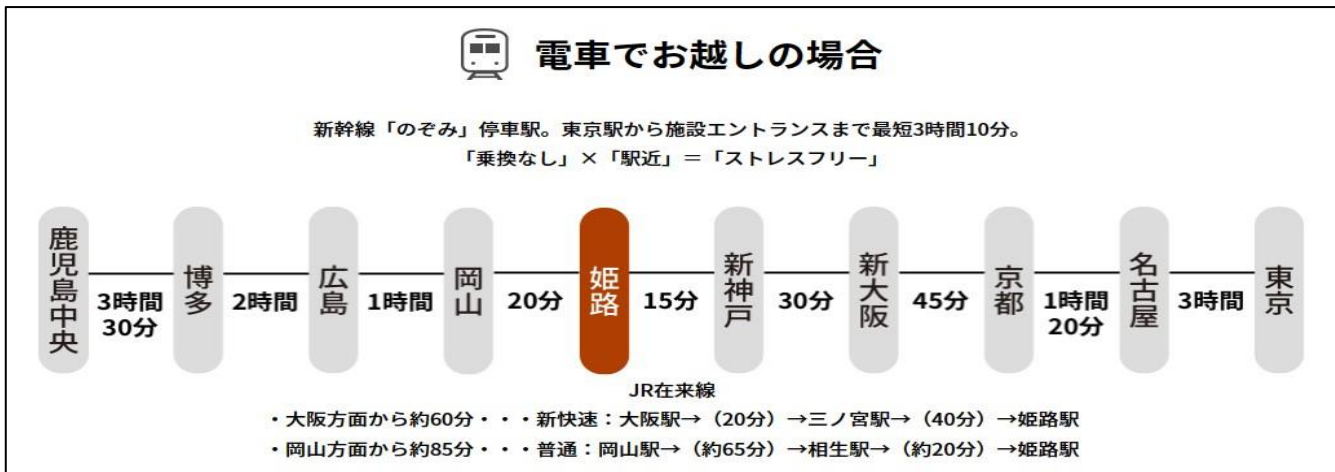


●分科会 6「フィールドワーク」集合場所
JR姫路駅「南口」側 バスロータリー付近
(10/20) ※8時10分厳守

●全体会 (10/19)
●分科会・特別上映会 (10/20)
会場：アクリエひめじ (姫路市文化コンベンションセンター)
※JR姫路駅から、徒歩約10分

会場へのアクセス

※以下、姫路市文化コンベンションセンター（アクリエひめじ）HPより抜粋。詳細は、姫路市文化コンベンションセンターHPをご参照ください (<https://www.himeji-ccc.jp/access.html#access>)



🚌 バスでお越しの方へ

JR姫路駅（北口/南口）より、アクリエひめじまで路線バスもご利用いただけます。詳しくは「神姫バス Navi（外部サイト）」をご確認ください。

1. 『発』に「姫路駅」と入力し、「姫路駅（北口）」または「姫路駅（南口）」を選択してください。
2. 『着』に「アクリエ」と入力し、「アクリエひめじ北口（翼橋）」または「アクリエひめじ前」を選択してください。
3. 『🔍 検索』を押してください。

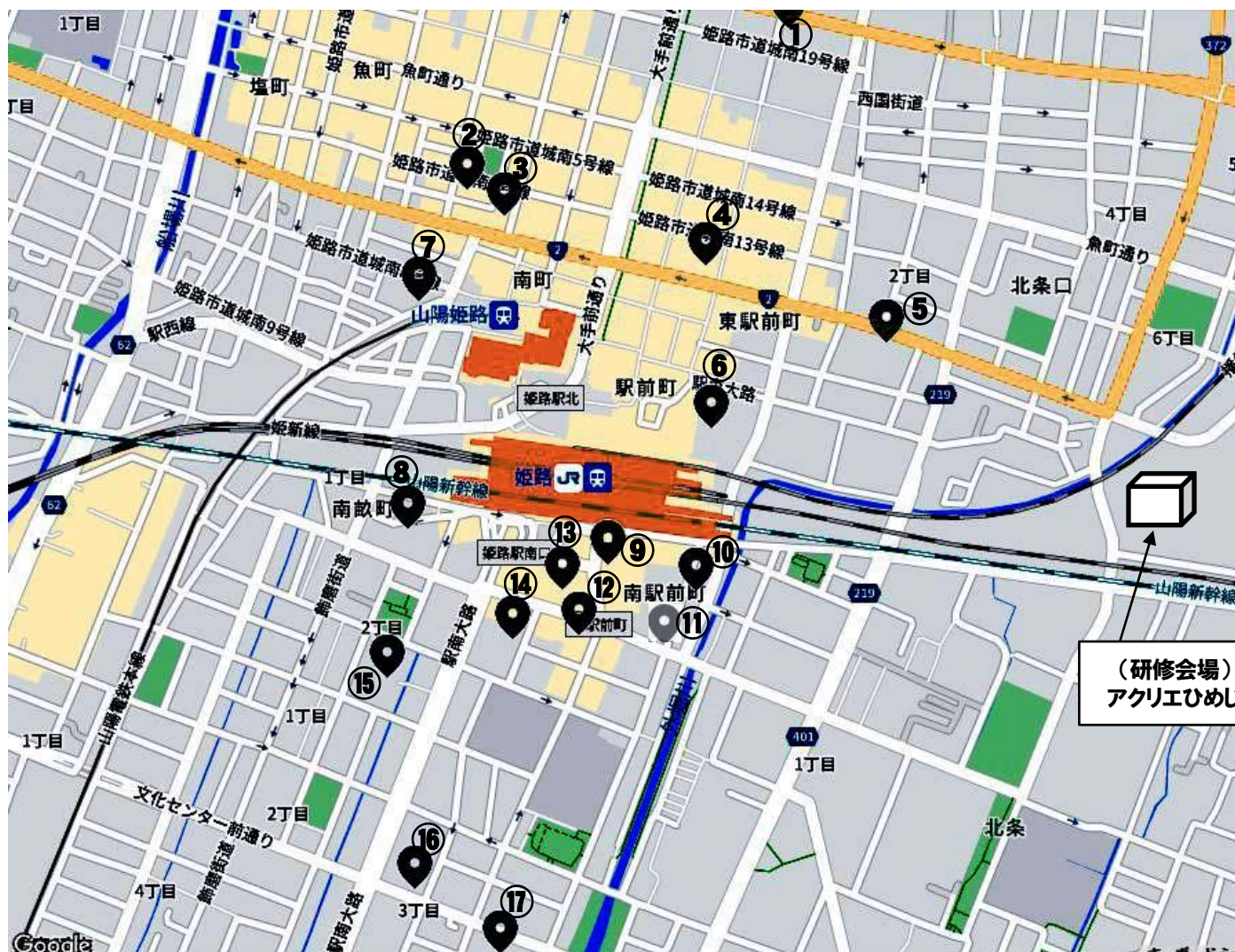


- 令和4年4月から、バス路線が一部変更されています。
- 【25系統：姫路駅北口～宮西町循環、姫路駅北口～日出町循環】
 - 【26系統：姫路駅北口～東姫路駅、姫路駅北口～阿保車庫】
 - 姫路駅（北口）5番乗り場 → アクリエひめじ北口（翼橋）（所要時間：約5～10分）
 - ※ 「29系統」の姫路駅北口発阿保車庫行きは停車しませんのでご注意ください。
 - ※ 施設北西側からは一般の方は入場できません。翼橋交差点より横断歩道をご利用ください。
 - 【92系統・93系統：姫路駅南口～白浜・東山・的形線】
 - 姫路駅（南口）22番乗り場 → アクリエひめじ前（所要時間：約4分）
 - ※ バス停付近には横断歩道はございません。2階連絡デッキをご利用ください。

J R姫路駅周辺のホテル

(1) 宿泊施設は各自で手配してください。(主催者による斡旋はありません。)

(参考) J R姫路周辺のホテル (全てを表示しているわけではありません)



(2) 研修会場から各ホテルまでの移動距離 (参考)

	ホテル名	研修会場から各ホテルまでの距離
①	ホテルウィングインターナショナル姫路	約 1,100m (徒歩約 14 分)
②	ホテルクレール日笠	約 1,200m (徒歩約 15 分)
③	姫路グリーンホテル立町	約 1,100m (徒歩約 14 分)
④	ダイワロイネットホテル姫路	約 830m (徒歩約 10 分)
⑤	コンフォートホテル姫路	約 520m (徒歩約 6 分)
⑥	ホテルモンテ姫路	約 690m (徒歩約 8 分)
⑦	東横 I N N 姫路駅新幹線北口	約 1,300m (徒歩約 17 分)
⑧	姫路駅前ユニバーサルホテル南口	約 1,100m (徒歩約 14 分)
⑨	東横 I N N 姫路駅新幹線南口	約 900m (徒歩約 11 分)
⑩	J R クレメントイン姫路	約 760m (徒歩約 9 分)
⑪	ホテルアルファワン姫路南口	約 830m (徒歩約 10 分)
⑫	天然温泉白鷺の湯ドリーミン姫路	約 1,000m (徒歩約 13 分)
⑬	ホテル日航姫路	約 950m (徒歩約 12 分)
⑭	天然温泉ホテルリブマックス PREMIUM 姫路駅南	約 1,200m (徒歩約 15 分)
⑮	リッチモンドホテル姫路	約 1,400m (徒歩約 17 分)
⑯	ホテルクラウンヒルズ姫路	約 1,500m (徒歩約 19 分)
⑰	姫路キャッスルグランヴィリオホテル	約 1,500m (徒歩約 19 分)

第60回全国隣保館長研修会（2023年度）参加申込書

[新規 ・ 追加 ・ 変更 ・ 取消] ← いずれかに○を付けてください。

申込担当者 所属						担当者名前				
連絡先	(住所) 〒 _____									
	(電話) _____ (FAX) _____									
	(E-mail) _____									
市町村名	所属隣保館名	名 前	通算勤務年数		分科会	金額		支払い方法 (○を付ける)		備考 (請求書への宛名等)
			年	月		参加費:3,000円 Fワーク:1,000円		当日現金	事前振込	

※通算勤務年数は、2023年10月1日現在でご記入ください。

※分科会は、希望する分科会番号をご記入ください。(記入例 分科会1→1、分科会2→2、分科会3→3、分科会4→4、分科会5→5、分科会6→6)

※金額には、フィールドワーク(分科会6)参加の場合は、参加費との合計金額を記入ください。(参加費+フィールドワーク=4,000円)

※ご記入いただいた個人情報は、学習会運営上の目的以外には使用しません。

※本用紙が足りない場合はコピーの上ご利用ください。